



平成 28 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社環境管理センター
 代表者名 代表取締役社長 水落 憲吾
 (JASDAQ・コード4657)

通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 6 月期 (平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日) の業績について、平成 27 年 8 月 17 日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 6 月期 通期業績予想の修正 (平成 27 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	3,850	200	150	160	38円02銭
今回修正予想 (B)	3,700	100	10	30	7円13銭
増減額 (B-A)	△150	△100	△140	△130	—
増減率 (%)	△3.9	△50.0	△93.3	△81.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 6 月期)	3,698	△39	△82	△96	△22円86銭

(2) 修正の理由

前回予想 (平成 27 年 8 月 17 日公表) では、東京オリンピック開催に向けた建設需要の活性化と福島の放射能関連の需要増を、前年比売上高が増加する要因として挙げておりました。

現在の建設需要の動向としては、都心部での建設需要は活発であるものの、人員ならびに資材の逼迫により建設費が高騰しています。建設需要の拡がりは限定的であり、土壌・地下水分野を中心とした建設関連の環境調査業務に対する需要の伸びも限定的なものとなっています。

放射能関連業務の動向としては、福島県の除染関連施設の中心となる中間貯蔵施設ならびにその関連施設の建設の遅れにより、期初の見込みに比べ環境調査業務の発注も遅れております。

これらのことから、売上高は前回予想比 150 百万円減少し、前期実績並みの 37 億円となる見込みです。

前回予想よりも売上高が減少したことにより、営業利益は前回予想比 100 百万円減少し、100 百万円となる見込みです。

経常利益ならびに当期純利益につきましては、本日 3 月 31 日付で別途開示しました「シンジケートローン契約締結及び営業外費用計上に関するお知らせ」のとおり、シンジケートローン組成に係るアレンジメントフィー等の諸費用 50 百万円を、前回予想では見込んでいなかった営業外費用として計上し、経常利益 10 百万円、当期純利益 30 百万円となる見込みです。

2. 配当予想の修正について

(1) 平成 28 年 6 月期 配当予想の修正

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	合計
前回発表予想		3 円 0 0 銭	3 円 0 0 銭
今回修正予想		0 円 0 0 銭	0 円 0 0 銭
当期実績	0 円 0 0 銭		
前期実績 (平成 27 年 6 月期)	0 円 0 0 銭	0 円 0 0 銭	0 円 0 0 銭

(2) 修正の理由

業績予想の修正に伴い当期純利益は黒字であるものの、利益剰余金のマイナスを解消できず配当可能原資を確保できないことから、誠に遺憾ながら配当予想を無配に修正いたします。

以 上

問合せ先 管理部長 浜島直人

電 話 042-673-0501 (直通)

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後の多様な要因によって予想数値と異なる結果になる可能性があります。